

新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援状況等に関する調査①

令和3年
8月末時点

- ◆ 調査対象 : 全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校（回答率95.1%）
- ◆ 調査時点 : 令和3年8月末時点
- ◆ 調査趣旨 : 各大学等における経済的に困難な学生に対する支援状況や中途退学者・休学者の状況等について調査

1. 令和3年度後期の授業料の納付猶予・減免の実施状況について

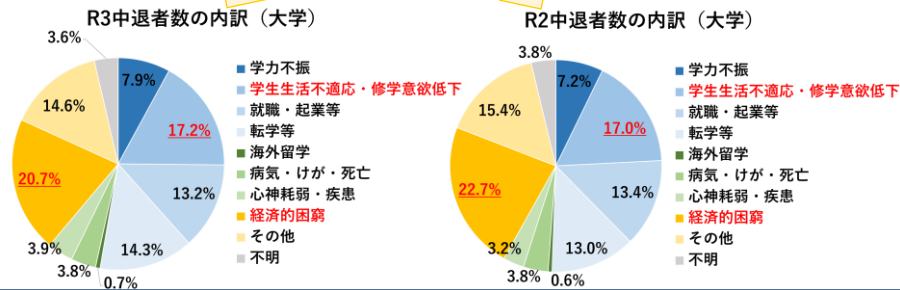
- 令和3年度前期に引き続き、後期についても各大学等において授業料の納付猶予や、大学独自の授業料等減免を実施予定。
- 全体の97.3%の大学等において後期分の授業料の納付猶予を実施又は実施予定。（全体の72.8%の大学等で納付期限を1月以降に設定。）
- 高等教育の修学支援新制度に加え、全体の61.3%の大学等において、経済的に困難な学生を対象とした各大学等による独自の授業料等減免を実施又は実施予定。

2. 中途退学者の状況（4月～8月の状況を比較）

- 中退者数の割合は、令和2年度に比べて令和3年度の方がわずかに減少しているが、コロナを理由とした中退者数の割合は増加している。
- 中退者の内訳は、令和3年度と令和2年度で概ね同様の傾向。主なものは、経済的困窮(20.7%)、学生生活不適応・修学意欲低下(17.2%)など。

大学 (大学院生含む)	全体		学部1年生のみ	
	R3年度 (4月～8月)	R2年度 (4月～8月)	R3年度 (4月～8月)	R2年度 (4月～8月)
中退者数	11,862人 (701人)	12,322人 (385人)	1,929人 (87人)	1,827人 (157人)
学生数に占める 中退者数の割合	0.40% (0.02%)	0.41% (0.01%)	0.28% (0.01%)	0.26% (0.02%)

※括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと回答があった者の数/割合
 ※R元年度同時期中退者の数（割合）：14,239人（0.48%）

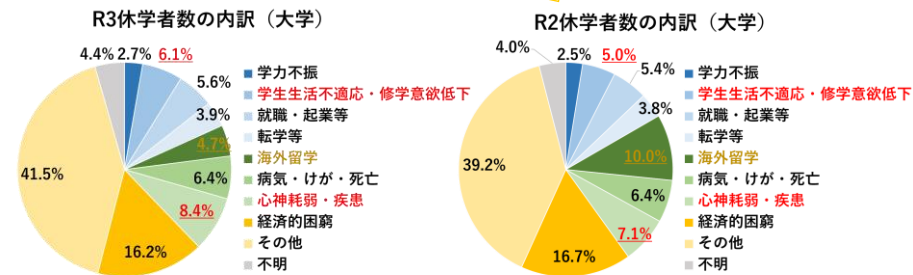


3. 休学者の状況（8月末時点の状況を比較）

- 休学者数の割合は、令和2年度に比べて令和3年度の方が若干増加しており、コロナを理由とした休学者数の増加割合は、それを上回っている。
- 休学者の内訳は、令和2年度に比べ海外留学が減少。主に、学生生活不適応・修学意欲低下(6.1%)や心神耗弱・疾患(8.4%)が増加。

大学 (大学院生含む)	全体		学部1年生のみ	
	R3年度 (8月末時点)	R2年度 (8月末時点)	R3年度 (8月末時点)	R2年度 (8月末時点)
休学者数	50,908人 (4,418人)	47,087人 (2,677人)	3,308人 (318人)	2,720人 (356人)
学生数に占める 休学者数の割合	1.70% (0.15%)	1.57% (0.09%)	0.48% (0.05%)	0.39% (0.05%)

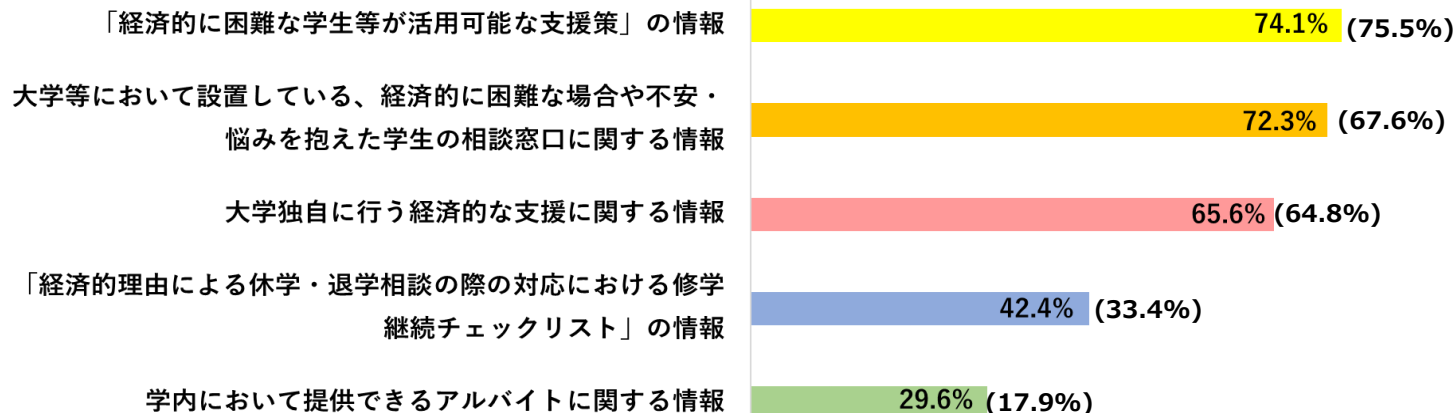
※括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと回答があった者の数/割合
 ※R元年度同時期の数値を把握していない。



4. 経済的支援策の周知の状況について

○経済的な悩みを抱える学生の中退や休学を防ぐために、各大学等において、どのように各種支援策を情報提供しているか。

- ・全体の約74%の大学等において、学生が活用可能な支援策一覧
- ・全体の約72%の大学等において、学生の相談窓口に関する情報を周知。



※括弧内の割合は昨年度末時点の調査結果の数値

5. 各大学等における、経済的困窮等による中退及び休学を防ぐために、独自に行っている工夫

●情報発信・相談体制の整備

- ✓ 修学意欲が低下していたり、オンライン授業に戸惑っていたりする学生をフォローするために学修支援員を配置
- ✓ 悩みや不安等何でも相談できるLINE相談窓口を開設
- ✓ 学生をグループに分け、各学科の教職員をアドバイザーとして配置し、修学上の問題や学生生活の悩み等について相談できる環境の整備
- ✓ 学部1年生必修科目の出席状況が悪い学生に対し、教職員が連絡して状況を確認しサポート
- ✓ 学生が困ったときにキャンパス相談室に行きやすくなるよう、キャンパス相談室のカウンセラーが特別講座を担当

●経済的配慮

- ✓ 新型コロナの影響で、家計が急変し、修学が困難となった学生に対して大学独自の奨学金を創設
- ✓ 通信環境整備のため、新入生に対して現金を給付
- ✓ 大学生協で利用できる電子マネーを給付し、教科書代や食費等の購入に係る支援を実施
- ✓ 新型コロナの影響で、アルバイトができずに収入が減少している学生をサポートするため、一人暮らしの学生に野菜や米などの食料や食券を無償で提供

新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援状況等に関する調査②

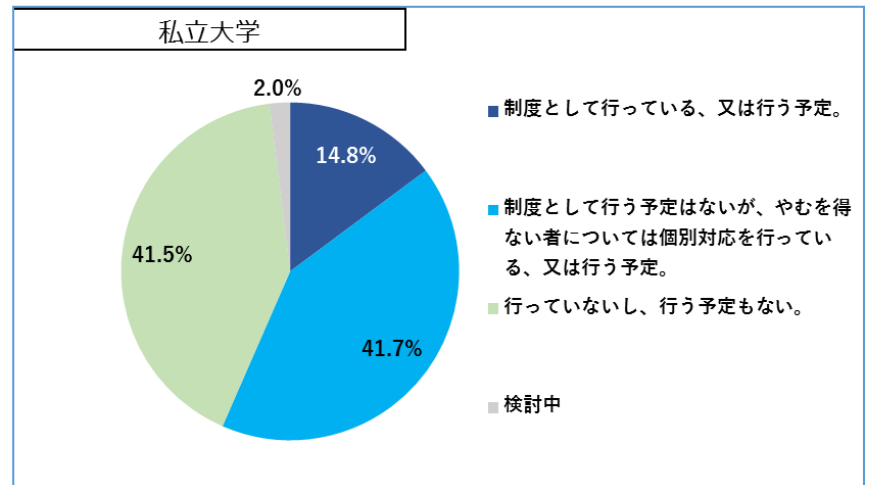
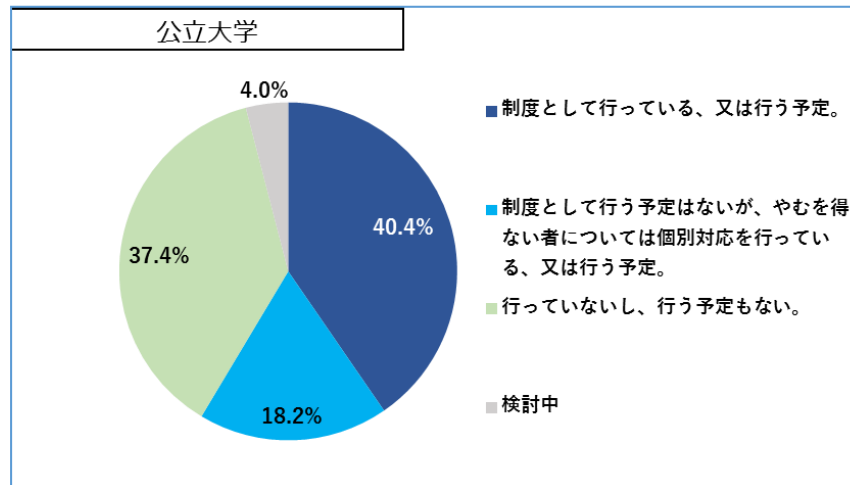
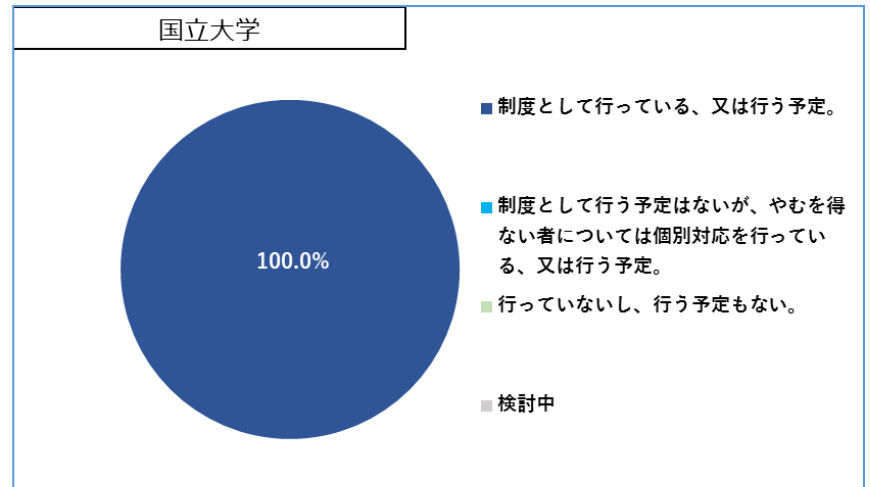
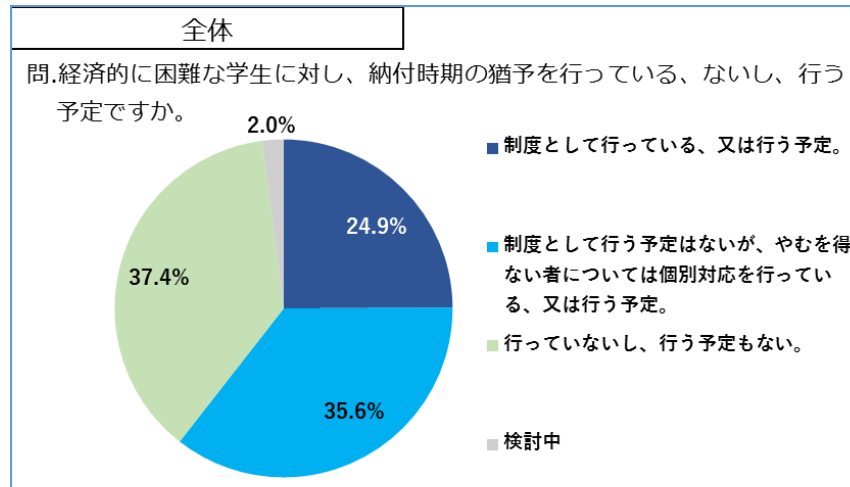
■ 令和4年度入学者の入学金の取り扱いについて

※大学(学部)及び短期大学(国公立大学は前期試験、私立大学は一般入試)の合格者の入学金の取扱いについて調査。

1. 経済的に困難な学生に対する入学金の納付猶予について

・全体の60.6%の大学において経済的に困難な学生に対する入学金の納付猶予を実施又は実施予定。

(学校種別 国立：100.0% 公立：58.6% 私立：56.5%)



2. 入学金の納付の最終期限 ※猶予制度がある場合は猶予の最終期限

○国立では**全て**の大学で納付の最終期限を**7月以降**に設定。

○私立の**77.4%**が、**国立の前期試験合格発表日（※）以降**に期限を設定。

※国立合格発表日（前期試験）3月6日～

納付期限	全体	国立	公立	私立
令和3年12月以前	0.3%	0.0%	0.0%	0.4%
令和4年 1月1日～1月31日	0.3%	0.0%	0.0%	0.4%
2月1日～2月28日	4.1%	0.0%	0.0%	5.1%
3月1日～3月5日	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%
3月6日～3月19日	13.9%	0.0%	12.1%	15.6%
3月20日～3月31日	58.9%	0.0%	44.4%	<u>67.1%</u>
4月1日～4月30日	2.3%	0.0%	6.1%	<u>2.1%</u>
5月1日～5月31日	1.6%	0.0%	6.1%	<u>1.2%</u>
6月1日～6月30日	3.5%	0.0%	10.1%	<u>3.0%</u>
7月1日～7月31日	2.3%	<u>6.1%</u>	6.1%	<u>1.4%</u>
8月1日～8月31日	2.7%	<u>18.3%</u>	3.0%	<u>0.9%</u>
9月1日～9月30日	5.6%	<u>47.6%</u>	9.1%	<u>0.7%</u>
10月1日以降	3.5%	<u>28.0%</u>	2.0%	<u>1.0%</u>

77.4%

3. 高等教育の修学支援新制度に加え、経済的に困難な学生に対する各大学による独自の**入学金減免**の措置について

・**全体の22.4%**の大学において**経済的に困難な学生に対する独自の入学金減免を実施又は実施予定**。

(学校種別 国立：71.9% 公立：40.4% 私立：14.7%)

